

発 日 監 第 11 号
平成30年5月29日

日 吉 津 村 長 石 操 様
日吉津村議会議長 山路 有 様
日吉津村教育長 井田 博之 様

日吉津村監査委員 岡 嶋 利 行

日吉津村監査委員 三 島 尋 子

平成30年度定例監査の結果について

地方自治法第199条第4項の規定に基づき平成30年度定例監査を実施したので、同条第9項に規定する監査の結果に関する報告及び同条第10項に規定する意見を次のとおり提出します。

定 例 監 査 結 果 報 告 書

1. 監査期日

平成30年5月17日（木）

2. 監査の対象

①(株) ひえづ物産の決算状況について

②一般財団法人うなばら福祉事業団の決算状況について

3. 監査の説明員

高田総務課長

4. 監査の実施方法

それぞれの決算状況について決算報告書に基づいて説明を受け、貸借対照表等の科目ごとに質疑を交えながら内容を検討した。

5. 監査の結果と意見

1) (株) ひえづ物産の決算状況について

貸借対照表

(単位：円)

資産の部			負債の部		
科目	金額		科目	金額	
	平成 29 年度	平成 28 年度		平成 29 年度	平成 28 年度
流動資産	12,387,385	14,949,691	流動負債	882,277	983,685
現金・預金	11,000,482	13,316,224	未払金	461,422	458,830
未収入金	1,370,110	1,633,467	未払法人税等	71,000	71,000
立替金	16,793	0	未払消費税	328,900	432,900
固定資産	44,549,369	47,806,698	預り金	20,955	20,955
建物	33,214,550	45,509,706	固定負債	26,299,015	32,238,981
建物附属設備	8,978,345	10,405,465	長期借入金	14,500,000	20,500,000
工具危険備品	59,482	119,322	解体費引当金	5,700,000	5,400,000
電話加入権	76,992	76,992	預り保証金	6,099,015	6,338,981
敷金	2,220,000	2,220,000	負債の部合計	27,181,292	33,222,666
繰延資産	10,827,916	11,761,249	純資産の部		
開発費	10,827,916	11,761,249	株主資本	40,583,378	41,294,972
			資本金	10,000,000	10,000,000
			利益剰余金	30,583,378	31,294,972
			利益準備金	500,000	500,000
			その他利益剰余金	30,083,378	30,794,972
			繰越利益剰余金	30,083,378	30,794,972
			(うち当期純損失金額)	711,594	1,580,597
			純資産の部合計	40,583,378	41,294,972
資産の部合計		74,517,638	負債及び純資産合計	67,764,670	74,517,638

1 店舗が撤退したため、現在、1.5 店舗分のスペースが空いている。そのため、平成 29 年度は 711,594 円の損失が発生している。ただし、14,500 千円の借り入れについては 3 年後には完済見込みであるので、喫緊の不安材料とはなっていない。ただし、施設も老朽化してきていることを勘案すると、リニューアルに向けた取り組みが必要になってくるものと推察するところであり、その為にも早急に新規の入店を促し、施設そのもののイメージを回復する意図からも、空きスペースを解消していただきたい。現在、出店に向けた交渉がなされているとのことであり最善を尽くされたい。

支出の中では、一般管理費の中で地代が大きなウェイト占めている。開設当時の契約であろうが、当該年度は総額 5,149,947 円を支出している。賃貸の実勢を勘案し見直しの交渉をお願いしたい。

2) 一般財団法人うなばら福祉事業団の決算状況について

貸借対照表

(単位：円)

資産の部			負債の部		
科目	金額		科目	金額	
	平成 29 年度	平成 28 年度		平成 29 年度	平成 28 年度
流動資産	43,312,376	48,469,299	流動負債	43,078,937	44,573,687
現金・預金	37,706,666	43,949,426	買掛金	4,391,463	4,596,301
売掛金	3,005,000	2,605,073	未払金	30,004,386	31,597,254
未収金	902,129	263,542	未払費用	6,937,423	5,808,058
賞品	531,561	426,463	預り金	1,154,565	917,974
原材料	321,888	353,024	前受金	54,000	72,000
貯蔵品	778,631	861,756	未払消費税等	466,100	1,162,100
仮払金	86,501	26,015	未払法人税等	71,000	42,000
貸倒引当金	△20,000	△16,000	負債の部合計	43,078,937	44,573,687
固定資産	103,142	145,314	純資産の部		
建物	103,142	145,314	株主資本	336,581	4,040,926
建物付属設備	1	1	貸本財産	3,000,000	3,000,000
工具危惧備品	103,141	145,313	利益剰余金	△2,663,419	1,040,926
			その他利益剰余金	△2,663,419	1,040,926
			繰越利益剰余金	△2,663,419	1,040,926
			純資産の部合計	336,591	4,040,926
資産の部合計	43,415,518	48,614,613	負債及び純資産合計	43,415,518	48,614,613

平成 29 年度は、村から 27,000 千円の補助金が投入されたものの、引き続き実質赤字決算となっている。50 日間の改修工事があったために休業したところであるが、市町村共済組合の指定利用施設となったために、その点では下支えになっているとのものであった。

平成 30 年度は厨房の工事が予定されているが、素泊まりと日帰り入浴は営業することであった。リニューアルしたことや市町村共済組合への PR 等を強化し、稼働率をどう上げ、どのように黒字転換へ道をつけていくのかという具体的な目標を立てて臨みたい。